様式1

# スマートアイランドの実現に向けた技術提案書

提案団体名：　ジーマックスソリューション（株）　（複数団体による提案も可とします

〇提案内容：各離島の観光資源のアピール

| （1）自社の保有するスマートアイランドの実現に資する技術と実績等 | 技術の分野 |
|---|---|
| 【製品】<br>弊社が所有するハイブリッドクラウドプラットフォーム（クラウド）<br>Wisbrain（SaaS、PaaS）を活用<br><br>技術<br>①映像転送技術<br>②エッジAI技術<br><br>導入実績<br>国土交通省　河川監視<br>国土交通省　富士山監視<br>南極地域観測隊　昭和基地<br>ロジスティック　ベトナム<br>※本実証実験に近い導入実績のみ | 下記のうち、該当するものを〇で囲んでください。<br><br>交通・モビリティ<br>エネルギー<br>物流<br>防災<br>観光<br>教育<br>健康・医療<br>環境<br>産業<br>担い手確保・人材育成<br>その他 |
| （2）（1）の技術を用いて解決する離島の課題のイメージ | |
| スキューバダイビングのポイントの開拓は、ダイビングショップが主体となり行っているが、コスト面で単独で行うことができず、有志を募って行っているのが現状である。<br>戦時中に沈んだ戦艦、戦闘機も多くが海の中に沈んでいるが発見が困難である。<br>理由として水深が浅い場所にある沈船は腐敗しており、腐敗せずに現存している沈船は水深が30m以上の為調査が極めて困難である。<br>また広いエリアを探索することになることと、1回のダイビングで潜れる時間は30分～45分なことから魚の生息などの調査も長期になり莫大な費用がかかり実現できないのが現状である。 | |

| （3）その他 |
|---|
| ネットワークカメラでLIVE映像を取得し地形・沈船・魚などの調査を行う。<br>海底の映像データをリアルタイムで地上に送るには有線ケーブルで行うしかないが、無線で送ることによりリアルタイムでの海底のデータ取得が容易とり時間的コストの削減、ドローン等を使えば遠隔で作業を行うことも可能。 |

※（1）（2）について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

〇部局名・担当者・連絡先（電話及びメール）

| 部局名 | 担当者 | 連絡先（電話） | 連絡先（メール） |
|---|---|---|---|
| ジーマックスソリューション（株） | 大井　淳司 | 03-5315-4065 | ohi@zms.co.jp |